

# 「全ての経験が財産」 愛子さま20歳に

天皇、皇后両陛下の長女、愛子さまは1日、20



20歳の誕生日を迎えた愛子さま(14日、皇居)＝宮内庁提供

歳の誕生日を迎えられた。現在学習院大学の2年生で、新型コロナウイルス禍のため、専攻の日本文学ではオンライン授業中心の日々を送られている。愛子さまは成年にあたっての感想として「(これまでの)全ての経験が、今、私の財産となっていて」とつぶやかれた。(関連特集を掲載)

皇族方の成年時は記者会見を行うのが通例だが、宮内庁によると愛子さまはリポートの提出など日々の課題で多忙なため、春休み中の2022年3月第3週に実施する。

成長を見守ってきた国民にもお礼の気持ちを記された。様々な出会いを通じて「人と人が互いに手を取り合い、交流の輪が広がっていく素晴らしさ」を学んだという。

今後の抱負として「成年皇族の一員として、一つのお務めに真摯に向き合い、できる限り両陛下をお助けしていきたい」。

愛子さまは感想の中で、この20年を「多くの学びに恵まれた色濃い歲月」とし、天皇、皇后両陛下の「愛情」や上皇ご夫妻の「優しさ」、多くの教員や友人の「お力添え」に謝意を示された。

愛子さまは学習院大文

学部日本語日本文学科の2年生になり、古代から現代までの日本文化を学ぶ「日本語日本文学系」に進まれた。課題発表に向けた準備では、両陛下と意見を交わし、アドバイスをもらうこともあるという。

当面は学業優先の生活を送られるものの、今後は成年皇族として宮中行事や儀式への出席機会もある。宮内庁によると「皇室の方々の姿を手本としながら、ご自身のお務めを心を込めて果たしたい」とのお考えという。

愛子さまの成年にあたり、母校の学習院女子中・高等科は宮内記者会の質問に、文書で回答した。

高等科3年時の担任によると、愛子さまは現代文の授業で「人生は有限だと再認識し時間は戻らないので今を充実させたい」「休み時間に学内で販売されている『ごきげんよう弁当』を楽しみにしている」といった記述をされていたという。担任は「何事にも丁寧に取り組み、努力なさっていた」と振り返った。

愛子さまは成年にあたり、母校の学習院女子中・高等科は宮内記者会の質問に、文書で回答した。